



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

c/o YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN ☎920-0998 ☐(076)221-5398

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/>

国際会長主題 「とにかくやろう-成せば成る」 “Audere est Facere – To dare is to do”
 アジア地域会長主題 「とにかくやろう-成せば成る」 “Audere est Facere – To dare is to do”
 スローガン 「信念をもって使命をはたそう」 “Mission with Faith”
 西日本区理事 主題 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
 “Contribute to the Community through Active Services with Love.”
 副題 「理想を目指して変革と行動！」
 “Change Ourselves and Take Actions toward Our Lofty Goal”
 中部部長主題 「先ず、一歩 一楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」
 金沢犀川クラブ会長主題 「わくわく例会 広げよう仲間の輪」
 “Energize Our Meetings, Widen Our Circle of Friends”

会長：北肇夫 副会長：澤瀬諭 書記：高木啓一 会計：川村孝治 直前会長：三谷信三

今月の聖句：御国が来ますように。御心が行われますように、天におけるように地の上にも。わた
 したちに必要な糧を今日与えてください。わたしたちの負い目を赦してください、わたしたちも
 自分に負い目のある人を赦しましたように。 マタイによる福音書 6. 10-12

2012年4月強調月間

YMCAサービス・ASF

YMCAサービスはワイズ活動の根幹です。より一層のサポート体制の向上に努めましょう！

藤川 洋 Yサ・ユース事業主任

☆☆☆4月例会案内☆☆☆	☆☆☆3月例会報告☆☆☆
日 時：4月30日(祝・月)10:00集合～15:00頃 当日雨天の場合、同大・国際交流研修センターにて実施する。 場 所：北陸学院大学 三小牛キャンパス 金沢 YMCA 主催「たけのこキャンプ」に参加。 会 費：2,000円(会員不要) 定 員：25名 ***プログラム*** ・たけのこ掘り ・たけのこ料理味わい会 ・ゲーム 参加申込み：4月23日(月)までに下記へ。 金沢 YMCA 事務局(朝倉) 090-6539-5173 数澤(金沢クラブ) 076-242-7952 澤瀬(金沢犀川クラブ) 076-276-7822	【第一例会】3月8日(木)19:00～21:00、新坂恭士氏(卓話者)、朝井悦夫氏・島村盛一氏・島村令子氏・松原繁子氏(ゲスト)、川村君・北君・澤瀬君・竹中君・平口君・三谷君。 【第二例会】3月22日(木)19:00～21:00、出席者：川村君・北君・澤瀬君・竹中君・三谷君。 西日本区次期会長・主査研修会 3月10日(土)～11日(日)、新大阪ホテル、澤瀬君・川村君参加。 第2回中部評議会・YYフォーラム2012 3月20日(祝・火)、名古屋 YMCA 会館、北会長参加。 春のクソソソ作戦 4月1日(日)7:00～8:00、小雨決行、新桜坂緑地(W坂)周辺の清掃。 彦根シャトークラブ 30周年・長浜クラブ 25周年合同記念例会 4月15日(日)、北ビワコホテルグランドツエ、参加予定者：北君、澤瀬君、平口君、三谷君。 今月のハッピー・ハースデー 平口君 4月4日 5月の当番 司会：澤瀬君、準備：竹中君 *3月第一例会ニコニコタイムの献金は東日本大震災支援金として西日本区に送りました。
*例会に使用済み切手をご持参ください。	

当クラブ	3月出席者	3月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 7名	メ ン 6名	85.7%	前年度繰越 3,342g	2月累計 68,111円
広義会員 0名	メネット 名		3月分切手 147g	3月分 30,000円
	ビジター 名	メイキャップ 0名	今年度累計	
	ゲスト 5名		切手 3,489g	
			現金 0円	
合計 7名	11名	85.7%	計 3,489g	累計 98,111円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆3月卓話「放射線の中で生きる」を聴いて◆

三谷 信三

私たちはふだん放射線の中で生きている。宇宙線は大气のおかげで地上には一部しか届かないが、それを地球上の生物は浴び続けている。日常生活で飲み食いする水や食べ物からも、またテレビや医療機器からも放射線は出ている。もちろんそのような中でも生きていけるような仕組みが人体に備わっているので、さほど心配なく私たちは生きていけるのである。

ところが1年前の東日本大震災による福島原発事故で、多くの住民が放射能被害を避けるべく影響の及ばないところに避難し、生活することを余儀なくされた。通常では心配のない放射線量をはるかに越えた放射性廃棄物が原発事故により大量に撒き散らされたからである。

一番安全かつ安価であると言いつた聞かされてきた原発が、実は一番危険かつ高価なものであることが原発事故によって露呈された。今後は自然エネルギー(太陽光、風力、地熱等々)を大いに利用し、一人一人が節電に努めなければとの思いを強くした。



前列中央:卓話者 新坂恭士金沢工業大学教授

◆次期会長・主査研修会に参加して◆

次期会長 澤瀬 諭

次期中部フェント主査 川村 孝治

3月10日～11日、新大阪チサンホテルで次期会長・主査研修会が開催され、澤瀬ワイズと川村ワイズが参加しました。この研修会では、犀川クラブ全体についても参考になるような話を伺いました。

ここ数年、例会は卓話の内容も面白く、ゲストの方々も増加の傾向にありますが、入会者数が低迷しているのが現状です。それはなぜなのかという疑問を長い間持っていました。この点について、今回の研修会で気づいたことを紹介いたします。

問題点はまず例会冒頭に行われるセレモニーにあるのではないのでしょうか。例会に初めて参加したゲストは開会点鐘のギャベルに驚き、ワイズソングの際の挙手に戸惑い、プリテンに記された「今月の聖句」に首をかしげる、ということが少なからずあるようです。こういう儀式に慣れている人はともかく、初参加の方は何か違和感を覚え不安になるのではないのでしょうか。

そこで、なぜ開会点鐘するのかということですが、チーン音で個人の社会的地位・名誉・財産の有無や男女の区別さえ忘れ、参加者全員平等な個人として友達になるのだ、という意見を研修会で伺いました。また、なぜ歌をうたうのかについては、大勢で喧々諤々と議論を始めて収拾がつかなくなった時、一人のアメリカ人がフォークソングを歌いだしたところ、皆がそれ

につづいて歌いだし、ようやくメンバーが落ち着きを取り戻し、より良い方向に向かったことから、ワイズメンクラブの例会では世界共通の歌をうたうことになったという歴史的背景があるとのことでした。

第2はクリスチャンティの問題です。あらゆる信条・信仰の人がより良い世界を築くために、互いに尊敬と愛情をもって活動する、この国際的な組織の基盤をなすのは「イエス・キリストの教え」ですが、西日本区定款にあるように「イエス・キリストが示された愛と奉仕の実践を目指す」ということであって、決して信仰や教会生活を強要するものではありません。このことをはっきり示すことが肝要です。また、プリテンには「今月の聖句」が掲載されていますが、わかりやすく平易な言葉で解説すれば宗教的障壁も低くなることでしょ。

第3はスピーカー・ゲストの迎え方です。本当にあたたかく迎えているか、各自が名刺交換しているか、積極的に会話しているか、もう一度考え直してみましょう。

第4は会費の問題、第5はワイズとYMCAの関係、第6は犀川クラブの目的、これらについても検討を要します。

上記の事項について簡単明瞭に説明したチラシを例会開始前に配布するとよいと思います。

◆第2回中部評議員会等参加記◆

会長 北 肇夫

3月20日(祝・火) 午後、名古屋YMCA会館で「第2回中部評議会」と「震災から1年 YYY フォーラム2012」が開催された。この日は好天に恵まれ、東海北陸自動車道経由で金沢クラブの3名と一緒に澁谷ワイズのマイカーで名古屋に向かった。

評議会は、評議員全員の出席で、八木 中部書記の司会により、①中部事業報告、②次期中部部長荒川文門ワイズ、次期中部部会ホストクラブ 名古屋南山クラブを確認、③次々期中部部長 平口哲夫ワイズ、次々期中部部会ホストクラブ 金沢犀川クラブの承認、④次期中部役員承認、⑤次期中部部会の日時および会場の承認などが行なわれた。準備された議案は滞りなく報告・承認された。なお、詳細は、別途「第2回中部評議会議事録」を参照されたい。

引き続き開催された「震災から1年 YYY フォーラム2012」には、被災者や現地でボランティア活動に参加した人たちから改めて被災地の現状を知り、学生、YMCA 会員、ワイズメンたちがお互いに意見を述べ合い、これからできる支援に関心をもち続けることの大切さを訴える意見もあった。約80名の参加者があり、会場は活発で熱気にあふれていた。

帰路は小雨が降る中を米原経由、北陸自動車道で家路に就いた。

第15回西日本区大会 6月9日(土)～10日(日)、滋賀県立文化産業交流会館(米原市)と長浜ロイヤルホテルで開催、参加予定者:北君、澤瀬君、平口君、三谷君。

《 金沢 YMCA のホームページ 》

<http://ys-saigawa.web.infoseek.co.jp/kanazawa-YMCA.html>